

将来の生活を見とおした進路支援のあり方を考える

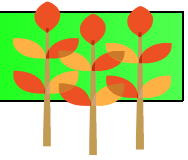
特別支援学校(知的)
キャリア教育推進ガイドブック



理解編

岩手県立総合教育センター
特別支援教育室

■ もくじ



■ はじめに 1

第1部 キャリア教育の理解と推進に向けて _____ 2

- 1 **キャリア教育と進路支援** — 特別支援学校におけるキャリア教育 — …… 3
キャリア教育が必要とされている背景 3 / キャリア教育とは 3
進路指導と進路支援 4 / キャリア教育では具体的に何をするのか 4
- 2 **インクルージョン社会の実現をめざして** …… 5
ノーマライゼーション, インクルージョン社会への流れ 5 / 障害観の変化
(ICFの理解と活用) 5 / 特別支援学校に求められること 6
- 3 **知的障害者の就労の現状** — 「働くこと」と障害者自立支援法 — …… 7
知的障害のある人の就労について 7 / 障害者自立支援法の概要 8
- 4 **勤労観と職業観の育成** — 知的障害のある児童生徒の勤労観・職業観の育成とは — …… 9
勤労観と職業観のとらえと内容 9 / 発達段階に応じた勤労観・職業観の育成 10
- 5 **卒業後を見とおした支援を実現するために** …… 11
卒業後を見とおした支援に必要なこと 11 / 卒業後を見とおした支援の
実現に向けて 12

コラム1 キャリア教育とはつなぐこと 13

第2部 キャリア教育を推進するための体制づくり _____ 14

- 1 **組織的に取り組むために** — キャリア教育全体推進計画の作成 — …… 15
キャリア教育全体推進計画の作成 15 / 校務分掌における役割の確認 16
PDCAサイクルの導入 16
- 2 **発達段階と発達課題の明確化** — 学習プログラム枠組みの作成 — …… 17
各学部段階別にみた「職業的(進路)発達段階」と「職業的(進路)発達課題」 17
/ 職業的(進路)発達課題に関する領域・能力とキャリア発達能力 18 /
キャリア教育学習プログラム①<枠組み>の作成 18

□ 知的障害のある児童生徒のためのキャリア教育学習プログラム①枠組み(例) 19

3 系統的な学習を行うために — キャリア教育全体学習計画の作成 — ……	21
キャリア教育全体学習計画の作成 21 / キャリア教育学習プログラム② ＜各教科・領域＞の作成 22	
4 個に応じた支援を行うために — 個別の教育支援計画と個別の指導計画 — ……	23
個別の教育支援計画と個別の指導計画 23 / 卒業後を見とおした視点 を入れるために 24	
5 キャリア教育推進の基盤づくり — 教職員の専門性と地域・関係機関との連携 — ……	25
教職員の専門性の向上 25 / 保護者との連携 25 地域・関係機関との連携 26	
コラム2 キャリア教育で学校はどう変わるのか	27

第3部 進路支援資料 ～ 卒業後の生活をイメージするために ～ — 28

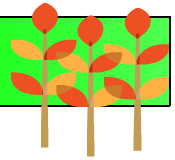
1 一般就労で求められる力 ……	29
就労を実現するための課題と達成時期 29 / 作業量と作業の質に ついて 30	
2 就労を支援する制度等 ……	31
雇用と福祉の連携による就労支援 31 / 就労移行支援事業 32 就労継続支援事業 32	
3 施設等の利用について ……	33
施設の種類と内容等 33 / 新体系サービスによる施設の利用 34 作業所について 34 / これからの施設の流れと選択のポイント 34	
4 障害者自立支援法について ……	35
はじめに 35 / 自立支援システムの全体像 36 / 福祉サービスの 新体系 36 / 日中活動と住まいの場の組み合わせ 37 / 地域生活 支援事業 37 / 支給決定までの流れ 38 / 利用者負担の仕組みと 改善策 38 / 障害に係る自立支援医療 41 / 補装具の制度 42 / その他 42	
5 その他の福祉制度の活用 ……	43
各種障害者手帳 43 / 年金・手当 43 / 各種割引など 44	

■引用・参考文献等 45

■参考資料(キャリア教育参考資料) 47 ～ 54



はじめに



このガイドブックは、当センターの「知的障害のある児童生徒が在籍する特別支援学校における組織的、系統的なキャリア教育の在り方に関する研究」において、特別支援学校におけるキャリア教育を推進するための手だてとして作成したものです。

特別支援学校におけるキャリア教育とは、卒業後の豊かな生活の実現、社会参加と自立に向け、卒業後を見とおした支援を組織的、系統的に行うことであると考えます。

本ガイドブックをとおして、各学校の教職員、また保護者の方々に子ども達の社会参加と自立を促すために必要なことは何か、学校として、家庭として何ができるのかを考えて頂き、それぞれの立場で、知的障害のある児童生徒のためのキャリア教育を推進して下さることを願っております。

また、本ガイドブックで示している知的障害のある児童生徒の学習プログラムや計画等は、全て「例」として作成したものです。キャリア教育の推進にあたっては、自校の実態に即して、学習プログラムや推進の手だてを全職員で共通理解をもちながら、作成していくことが必要です(全体計画等の具体例は後編の「実践・資料編」で紹介しています)。

本ガイドブックを各校のキャリア教育を推進するための検討資料として活用頂き、各学校の実態にあったキャリア教育を作り上げて頂くことを願っております。

平成20年3月

<ガイドブック作成(理解編)のねらい>

- ・ 知的障害のある児童生徒へのキャリア教育に対する理解
- ・ 組織的、系統的に取り組むことの意義と内容の理解
- ・ 児童生徒の卒業後の生活へのイメージづくり



《活用例》

- ・ 各学校における教職員対象の学習会や研修会の資料として
- ・ 各学校の保護者や児童生徒を対象とした進路に関する学習資料や啓発資料を作成する際の参考資料として
- ・ 各学校が自校のキャリア教育を推進するためのガイドとして
- ・ 各支援者が支援を行う際の資料として

